

できるようになった1年生

1年松組 高橋 瑠衣

わたしは、この1年間で、できるようになったことがたくさんあります。

1つ目は、さんすうのけいさんです。1ねんまつぐみでべんきょうするとき、せきがちかい、さなちゃんといっしょにしました。いっしょにべんきょうができたから、たのしくて、うれしかったです。はやく、けいさんできるようになってうれしかったです。

2つ目は、かん字です。かん字は、ななちゃんといっしょにべんきょうしました。いっしょにべんきょうできたから、かん字がたのしくなりました。いっしょにできて、うれしかったです。

3つ目は、けんばんハーモニカです。こいぬのマーチができるようになって、音がくしつで、3ごう車のみんなとえんそうかいができたことが、とてもうれしかったです。

4つ目は、おにまんじゅうづくりです。そだてたさつまいもで、おにまんじゅうをつくりました。ペアの2年生と6年生にあげると、「おいしいよ」と、よろこんでくれたので、わたしもうれしかったです。

2年生でも、ともだちをいっぱいつくって、いっぱいできることをふやしたいです。



3学きががんばったこと

1年竹組 山路 彩来

わたしは、しん1年生たいけん入学で、らい年入学してくる1年生と、こくごのきょうかしょをよんだり、ランドセルたいけんをしたりしました。ランドセルたいけん、ランドセルをせおわせてあげたとき、わたしのペアの子が、「1かいでいいよ」といいました。わたしは、たくさんせおわせてあげたいとおもっていたので、「どうしよう」とおもいました。

そのとき、しかいの子が、「もう1かいやらせてあげたら」といってくれました。わたしは、ゆう気を出して、「もう1回やろう」といいました。すると「いいよ」といって、よろこんでやってくれました。わたしは、いってみてよかったとおもいました。もし、しかいの子が、こえをかけてくれなかったら、しん1年生の子をよろこばせてあげられなかったとおもいます。

「わたしも、しかいの子みたいになりたいな。こまったらゆう気を出していってみよう」とおもいました。そして、人をよろこばせることができるやさしい人になりたいなとおもいます。



1年生でがんばったこと

1年梅組 安井 聡一朗

ぼくが1年生でがんばったことは2つあります。

1つ目は、あいさつをげん気よくすることです。あいさつにもいろいろあるけれど、とくに、かえりのあいさつをがんばっています。なぜかという、じぶんが大きなこえであいさつをすると、みんなも、大きなこえであいさつをしてくれるのでうれしいし、気持ちもよくなるからです。だから、これからもつづけようとおもっています。

2つ目は、音どくです。いえで音どくをするときに、かならずおかあさんに、はじめるあいずと、おわるあいずを出します。なぜかという、きちんといわないとてきとうになってしまうし、じぶんのためにもならないからです。また、なぜ音どくをがんばったかという、入学したばかりのときは、どくしょがにが手だったからです。この音どくをがんばってやってみてかんじたことは、どくしょをするとたのしくなるということです。また、どくしょをすると、気持ちがよくなります。これからも、ずっと音どくをがんばって、どくしょをもっとすきになっていきたいです。

1年かんをふりかえて、ぼくは、1年生のおもい出についてかんがえました。この一年かんでおもったことは、なにをやってもべんきょうになるということです。2年生になったら、1年生のころより、できることをふやしたり、むつかしいもんだいを、スラスラととけるようにしたりして、もっとせいちょうできる年にしたいです。



5年生でがんばったこと

5年松組 坂上 太一

5年生になって、委員会活動や野外活動などの大きな行事がありました。そんな中で、特にがんばったことを発表します。



がんばったことは、2つあります。

1つ目は、委員会活動です。5年生になって、初めて委員会に入ったときは、とてもドキドキしましたが、6年生からやり方などを教えてもらい、委員会活動で先生方や桜小学校のみなさんを笑顔にしたいという思いをもって、この1年間がんばりました。委員会活動をがんばったことで、そんな思いもでき、将来に役立つような経験をさせていただきました。

2つ目は、運動会の組体そうです。ぼくは、組体そうで、いろいろな方々に喜んでもらえるように、とてもがんばりました。日々の練習では、失敗してしまっても、先生方や友達などに支えても

らいました。組体そうをがんばったことで、仲間との友情がより深まりました。その他にも粘り強い気持ちやあきらめない心も、組体そうをいっしょうけんめいがんばったことで芽生えました。今でもその気持ちは心の中に残っていて、ぼくの将来にきっと役立つと思います。

この2つのこと以外にも、いろいろなことをがんばりました。そのがんばったことを生かして、自分の将来を過ごすとともに、桜小学校を笑顔にしていきたいと思いました。5年生でがんばったことをわすれず、6年生の生活に生かしていきたいと思います。

あいさつが笑顔の種

5年竹組 飯田 彩未

私が5年生にがんばったことは「あいさつ」です。私は5年生に通学班の班長になり、4年生のときよりも、あいさつを意しきすることがとても多くなりました。また、5年生では、道徳研究きょうぎ会などのお客様がおみえになる行事も多くあり、私がかんばっているあいさつを生かすことができました。あいさつ運動の期間中、期間後は、特に意しきは高まりました。学校に通うさいには、地域の方やスクールガードの方へのあいさつを、つねに心がけました。5年生もまとめの時期、3学期になると、学校と関わりのない所でもしっかりあいさつができるようになりました。

私は、あいさつを心がけるようになってから気持ちが変わりました。私がかいさつを意しきするようになったきっかけは、「あいさつはれいぎ。しないはずかしい」という考えからでした。しかし、じっさいにしてみて、あいさつに対するいんしょうがすごく変わりました。あいさつをすると、相手は必ず笑顔で返してくれます。私はこれに気づき、あいさつは「笑顔の種」なんだ。とってもいいものなのだと感じました。



これからは、私がかいさつを通して学んだことを、少しでもたくさんの人に知ってもらいたいです。また今年、最高学年として、たくさんの方の笑顔をとどけていきたいです。今年、私がかいさつを学んだあいさつのすばらしさについて、知ってもらおうのが私のかだいであり、役目です。あいさつで、1つでも多くの笑顔を作っていくように、もっと努力していきたいです。